

トレーニングルーム・幼児体育館室のある 城西体育館建設に着手

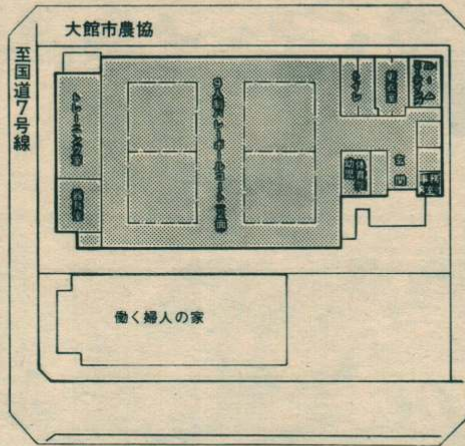
市では、市民の皆さんが気軽に健康づくりができる体育施設を各地区に順次建設しています。昨年完成した釈迦内体育館に次いで、先月二十一日に城西体育館の新築工事に着手しました。

城西体育館は、根下戸新町の「働く婦人の家」の北側に建設しているもので、鉄骨造り平家建て延床面積一千五百五十二平方メートル、釈迦内体育館よりひと回り大きなものとなっています。総工事費は二億五千二百三十六万円です。

競技場は、九人制バレーボールコート二面、バドミントンコート六面、バスケボールコート一面がとれる広さになっています。また市内の体育館では初めて、個人でも利用できるトレーニング室(百二十平方メートル)や子供たちが遊びながら体力づくりをする幼児体育室が設けられます。その他、ミーティングルーム、シャワー室などもあり大規模、多目的に利用できるようになっています。

城西体育館は、今年十二月二十日完成の予定で、今から地区住民やスポーツ愛好者などから完成が待たれています。

市では、市民の皆さんが気軽にスポーツを楽しむことができ、体育施設を建設し、「健康都市大館」の街づくりを進めています。五十九年度には十二所地区に体育館を建設する予定にしています。



▲釈迦内体育館よりもひと回り大きい城西体育館

秋田県 広域交流センター建設中 身障福祉センター隣りに

ガンパツデます 炎天下マキ切りに精出す 芳賀 裕さん

(南神明町)



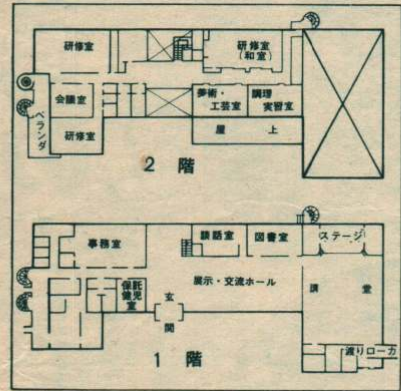
「マキを使う人が、結構多くなってきたね」キーンと音を響かせながらマキ切りする芳賀裕さん。真夏が盛りこの仕事奥さんと二人で一日二棚を切つて小割りにする。この仕事を始めてから二十四年になるといいます。「マキにするならブナが最高。切りやすいし、火力も強い。逆に手こずるのは山桜。堅くて切れない」と話します。汗とオガクズにまみれ、疲れた体をいやすしてくれるのは、涼しい川風に吹かれるのが、アユ釣り「これが一番いい」と帽子についた釣針を見せてくれました。

秋田県では、池内にある身体障害者福祉センターの南側に「大館周辺広域交流センター」を建設しています。

広域交流センターは、青年、婦人、ボランティア、老人クラブ、身体障害者団体などの方々が、学習や研修、スポーツを通じて広域圏内の住民相互の交流や自主的な地域活動の定着化などを図る目的で建設されているものです。

建設は、鉄筋コンクリート造り二階建てで、延床面積二千八百三十五平方メートル、工事費は六億三百四十万円となっています。

施設の概要は、一階に講堂、展示・交流、多目的ホール、図書資料室、談話室、二階には美術工芸室、調理実習室、研修室(三室)などが配置されます。また身体障害者も利用しやすいようにエレベーターや専用トイレ、スロープなどが設けられており、来年三月には完成の予定です。



フォトニュース

▼巨匠ピカソの銅版画展——文化会館の開館を記念して行われたピカソ展。訪れた人たちはめったに見ることができないピカソの作品群に見入っていました。



▲暑さを吹き飛ばす老人パワー——7月25日第7回老人スポーツ大会が行われました。会場の鳳鳴高校グラウンドには、200人の老人が集合、水運びゲーム、ドリブルリレー、サッカーゲーム、男女400mリレーなどに熱戦を繰り広げました。この結果支部対抗では釈迦内と下川沿チームが同点で優勝を分けあいました。

▼西ドイツスポーツユースが来市
一行17人は、市内に民宿して、スポーツ少年団や高校のクラブとスポーツを通じて国際交流をしました。



敬老会のお知らせ

市では、九月一日の下川沿地区を皮切りに、各地区ごと敬老会を開催します。

敬老会を開催します。

きよ 八とこ

9月1日(水) 下川沿公民館
4日(土) 釈迦内体育館
4日(土) 上川沿公民館
4日(土) 長立公民館
5日(日) 長木公民館
7日(火) 二井田公民館

8日(水) 真中多目的集会所
12日(日) 成章中学校
15日(水) 花岡体育館
△じかん▽ 釈迦内11時40分、失立13時、長木11時30分、その他11時です。※なお、大館地区の日程については、次号でお知らせします。

二十五位当選を祝す

ハガキで選んだ「東北観光地六十景」で大滝温泉が一万八千六百七十票を獲得し、みごと二十五位に当選させていただきました。

大滝観光協会、旅館組合、芸妓会のご努力に深く敬意を、ご協力いただきました大館観光協会、商工会議所、大館郵便局等関係者に感謝を、そして私たちの運動に行動で参加をいただきました一万八千名の市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

これを機に、心機一転施設整備、観光機能、接客サービス等々内容の充実化に起きなければならぬと存じます。それに必要な建設的な提案をいただきますようお願いいたします。

留山健治郎

市長の対話シート

No. 54

重ねて
平和を問う

今年夏も終わろうとしています。カラッぽ、短かい夏、この現象が経済にどんな影響を与えるのだろうか。

第二回国連軍縮会議が終了。世界をあげて反核や軍縮の声が高まりました。そして終戦記念日を迎え私たちはあらためて声を高らかに「平和」を宣言するのを待ちました。先ごろわが五日間ではありましたが西独スポーツユースの方々十七名を迎え、当市のスポーツ少年団市内高校生と交流。別れを惜んで涙を流し合いました。そうです、市民の間では国境を越えて、平和を確認しあっているのです。しかし、市民の願いとは別のところで平和とは逆の方向に、教科書や軍備増強が論議され具体化されています。

戦争は人権も生命も無視されます。そんな暗黒社会の再来は絶対に許してはなりません。毎日のくらしの中に平和の思想を固くうらたてましょう。

納税はくらしと市政をむすぶ糧